

各位

2017年6月7日

公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 神奈川
～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、公益社団法人神奈川県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 神奈川～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 神奈川」開催概要

日時： 2017年7月29日（土）15：00～18：00

場所： 新横浜グレイスホテル3階「グレイス」
横浜市港北区新横浜3-6-15

参加費： 無料（先着220名）

プログラム概要：

基調講演： 「日本の子ども－「子育て」の今とこれからを考える－」

座長：温泉川 梅代（日本医師会常任理事）

講師：衛藤 隆（東京大学名誉教授）

シンポジウム： 1 「児童精神科医療の現場からみた児童虐待」

新井 卓（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科部長）

2 「ゼロ歳児からの虐待防止～虐待による乳幼児頭部外傷を予防する～」

山田 不二子（医療法人社団三彦会山田内科胃腸科クリニック副院長／
認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン（CFJ）理事長）

3 「妊娠期からの虐待予防～虐待死ゼロを目指して～」

奥山 眞紀子（国立成育医療研究センターこころの診療部長）

4 「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状・課題」

加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 神奈川～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.med.or.jp/people/info/seminar/003323.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援と ゼロ歳児からの虐待防止を目指して

つないだ手から描く未来



児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。
特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を
予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。
そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的対応を含め社会全体で取り組む必要があります。
次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、児童虐待防止
に向けた啓発活動、情報提供を行います。

イラスト 小幡菜摘
2016年度 オレンジリボン運動
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費無料

先着
220名

日時

平成29年
7月29日(土)
15:00-18:00

場所

新横浜グレイスホテル
3階「グレイス」

※事前のお申し込みで託児施設(定員10名)が
ご利用いただけます。[託児申込締切:7月20日(木)まで]

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
公益社団法人神奈川県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、横浜市教育委員会、神奈川県病院協会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会、神奈川県看護協会、神奈川県学校保健連合会、神奈川県小児科医会、神奈川県産科婦人科医会、神奈川県栄養士会、神奈川県助産師会、神奈川県保育会、神奈川県PTA協議会、神奈川県私立幼稚園連合会、神奈川県新聞社、tvk(テレビ神奈川)、朝日新聞横浜総局、読売新聞横浜支局、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会

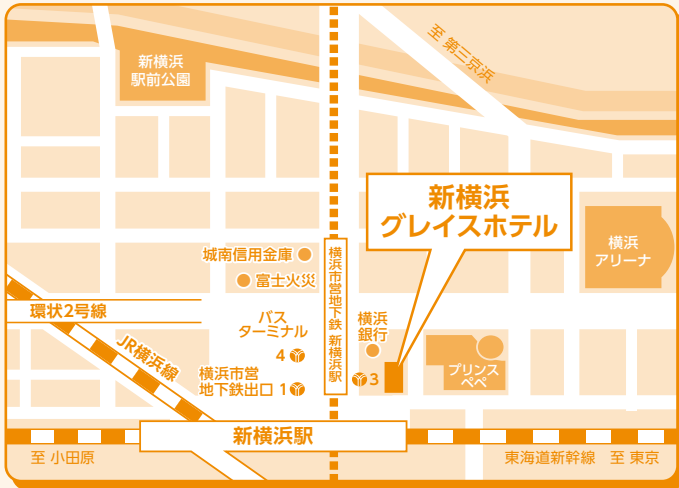
参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 神奈川 子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：平成29年7月29日(土)
15:00~18:00

場所：新横浜グレイスホテル3階「グレイス」
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-6-15
TEL:045-474-5111
HP:<http://www.gracehotel.jp>

- ◆渋谷駅より東急東横線で菊名駅まで急行で26分、菊名駅よりJR横浜線で新横浜駅まで3分
- ◆あざみ野駅より横浜市営地下鉄にて新横浜駅まで16分
- ◆横浜駅より横浜市営地下鉄にて新横浜駅まで11分
- ※駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。



プログラム

司会：高井 昌彦 (神奈川県医師会理事)

- 開 会 15:00
- 挨拶 15:00~15:10
横倉 義武 (日本医師会会長)、菊岡 正和 (神奈川県医師会会長)
- 基調講演 15:10~16:00
座 長：温泉川 梅代 (日本医師会常任理事)
講 師：衛藤 隆 (東京大学名誉教授)
「日本の子ども—『子育て』の今とこれからの考える—」
- シンポジウム 16:00~17:20
座 長：武内 鉄夫 (神奈川県医師会副会長)、高井 昌彦 (神奈川県医師会理事)
(1) 新井 卓 (神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科部長)
「児童精神科医療の現場からみた児童虐待」
(2) 山田 不二子 (医療法人社団三彦会山田内科胃腸科クリニック副院長 / 認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン(CFJ)理事長)
「ゼロ歳児からの虐待防止 ~虐待による乳幼児頭部外傷を予防する~」
(3) 奥山 真紀子 (国立成育医療研究センターこころの診療部長)
「妊娠期からの虐待予防~虐待死ゼロを目指して~」
(4) 加賀美 尤祥 (社会福祉法人山梨立正光生園理事長 / 山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状・課題」
- 討 議 17:30~17:55
- 閉 会 17:55~18:00
田淵 義久 (SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

はがき・Eメールによる
申し込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：平成29年7月20日(木)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は
参加票の発送をもって代えさせていただきます。(7月中旬頃)
※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒231-0037 神奈川県横浜市中区富士見町 3-1
神奈川県医師会

FAX 045-241-1464

E-mail y-sasaki@kanagawa.med.or.jp

HP <http://www.kanagawa.med.or.jp/>

お問い合わせ / 045-241-7000 (神奈川県医師会地域保健課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 神奈川

子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

(平成29年7月29日(土)開催)

住所	〒 -	託児施設のご利用	有・無
氏名	電話番号	託児人数	託児年齢
	FAX	男児 人 / 才 ヶ月	
		女児 人 / 才 ヶ月	
住所	〒 -	託児施設のご利用	有・無
氏名	電話番号	託児人数	託児年齢
	FAX	男児 人 / 才 ヶ月	
		女児 人 / 才 ヶ月	

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報は、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 045-241-1464 ↓